

WEEKLY REPORT

クラブの仲間が力を合わせて協力⇒愛情・信頼がうまれる⇒仲間に恩返し
仲間を好きになるとクラブへの帰属意識も高まる。
ロータリーに誘ってくれた人への感謝⇒ロータリーの楽しさを教えてくれた事⇒そのロータリーの楽しさを
わかちあう為、教えるためには？⇒新規会員の入会
DEIとは？⇒クラブ奉仕⇒クラブでの取り組みからDEIを理解してほしい。
・多様な人材を理解 ・公平な取り組み ・一人ひとりを受け入れて活かす事

2463 この数字はいったい何？

入会3年未満での10年間での退会者の人数

3年未満での退会者の意見 ロータリーの目的がわからない・仕事とロータリーの両立が難しい
毎週の例会出席が難しい・相談するメンバーがいない
ビジネス交流があるとよい・決まった服装や堅苦しい慣行行事に戸惑う

退会者を減らす為には？⇒クラブの活性化

誰も壁際に残さない

欠席しがちな会員への声掛け・クラブ内全員で行けるような親睦旅行案の企画
例会でいつも同じメンバーで話すのではなく、様々なメンバーとの会話

みんながみんなを真ん中に

人はたとえ
年を取っても
考え方は
変えられる

Join Leaders Exchange Ideas Take Action



Rotary 2023-2024年度

国際ロータリー 第2790地区 第13グループ

松戸北ロータリークラブ会報



「四つのテスト」 言行はこれに照らしてから

- 1・真実かどうか
- 2・みんなに公平か
- 3・好意と友情を深めるか
- 4・みんなのためになるかどうか

例会出席率 78.1%

第2430回 例会 2024年 03月27日(水)

- | | |
|----------------------------|--|
| ■国際ロータリー会長 ゴードンR. マッキナリー | ■例会日 - 毎週水曜日12:30より (第1例会18:30) |
| ■第2790地区ガバナー 鵜沢 和広 | ■例会場 - 流山市前ヶ崎717「柏日本閣」 |
| ■第13Gガバナー補佐 鈴木 悦朗 | ■事務所 - 松戸市八ヶ崎1-11-13 サンライズハイツ101 |
| ■松戸北ロータリークラブ会長 小澤 直之 | ■TEL/FAX- 047-711-5950 / 047-711-5910 |
| ■松戸北ロータリークラブ幹事 高橋 一彦 | ■Web/Mail- www.rc2790-12.jp / kanji@rc2790-12.jp |

<第2430回ガバナー公式訪問合同例会>

司会 大川高明会員

- | | | |
|-------|-----------------------------------|-----------|
| 12:45 | 点鐘 | 小澤直之会長 |
| | 国家及びロータリーソング斉唱【♪君が代♪奉仕の理想】 | |
| | お客様紹介 | 柳孝実会長エレクト |
| | 松戸北RC会長挨拶 | 小澤直之会長 |
| | 松戸RC会長挨拶 | 太田原慎一会長 |
| | 第13Gガバナー補佐挨拶 | |
| | 国際ロータリー第2790地区 23-24年度 鈴木悦朗ガバナー補佐 | |
| 13:00 | 卓話 | |
| | 国際ロータリー第2790地区 23-24年度ガバナー 鶴沢和広 | |
| 14:15 | 【委員会報告】 | |
| | ニコニコ委員会 本日のニコニコ発表 | 大川高明会員 |
| 14:20 | 点鐘 | 太田原慎一会長 |



<会長挨拶 >

小澤直之会長

本日は、先般例会にて実施したクラブ戦略計画について簡単にご報告をさせていただきます。形式的にはグループディスカッション方式で会員の意見を募ってみました。テーマとしては「北クラブの現状と課題」そして「今後クラブが目標として、実現していく内容」の2点をメインとした意見交換の場を設けました。短時間で非常に多くの意見が出た中で、数点ピックアップして発表させていただきます。

「クラブの現状」として多く出た意見としては、ここ近年で女性会員が4名入会した事によりクラブ内の雰囲気は良くなっているという事や若手の会員も増えた事によってイベント事や奉仕ごとへの参加が積極的になってクラブの活性化を感じるという事です。また会員の各々がもつ職業能力等を活用して、例会スタイルやクラブ内でのイベント事に変化が出てきている。それもクラブ活動の盛り上がりに通じていくのではないかと思います。このようにクラブが元気になることについては継続して、さらに高みを目指せばいいと思っています。

しかし、前向きな事ばかりではなく同じくらいの割合で出たのが出席率の低下についてでした。これは現在の我がクラブの課題となりますが、ここ1~2年で会員が急増した事は、クラブに対しては非常に盛り上がりを与えてくれました。しかし、その反面、例会への参加から足が遠のく会員も増えてきたことが出席率の低下につながっています。イベントごとや宴会形式の懇親を絡めた例会は、出席率が非常に高いのですが、それが通常例会になると出席率が低下してしまいます。やはり楽しくお酒を飲んで親睦をはかる場と比較するとやむを得ない結果かもしれませんが、やはり要因としては、例会内容に魅力がないのもしか、また新入会員に対して入会後のフォローが出来ていないのも要因のひとつではないかと考えます。このような結果を招いてしまったのは、会長の私自身が責任を感じる部分です。このような課題を認識して、長期で改善していく指標となる「クラブ戦略計画」はクラブを活性化するためにも大きなきっかけとなるような気がします。また、ディスカッションでのもう1点の議題「今後北クラブが実現していく目標」として挙がった内容ですが、やはり地域社会に対しての具体的な支援を実現したいという意見が多く出ました。それと並んで出たのが、北クラブのウィークポイントである「国際奉仕」についての取り組みを積極的にしたいという意見でした。全てにおいて単年での実現はなかなか難しいと思うので、次年度、次々年度へとバトンタッチして、目標を具体化しながら、達成出来ればと思います。

2023-24年度 地区スローガン

Bring up Engagement

エンゲージメントを育もう



小澤直之会長
挨拶



太田原慎一会長
挨拶
(松戸RC)



鈴木悦朗ガバナー補佐
挨拶



<ガバナー卓話>

鶴沢和広ガバナー

2023-2024年度会長テーマ

CREATE HOPE IN THE WORLD 「世界に希望を生み出そう」

- ・ 平和とは、希望が根付くための土壌です
- ・ ロータリーが平和に重点的に取り組み人道的支援に力を入れることで世界に希望を生み出すことが出来る



メンタルヘルスへの取り組み

- ・ 新型コロナウイルス流行の結果として傷ついた多くの人々を助ける
- ・ 教育の機会を妨げられた子供や若者を助ける
- ・ 精神疾患やLGBTなど個人の持つ特徴に対して、周囲から否定的な意味づけをされ、不当な扱いをされ「差別や偏見」に苦しんでいる人々を助ける(スティグマ軽減へのアプローチ)
- ・ 他の人を助けることで、ストレスが軽減され、気分がよくなり、私たち自身のメンタルヘルスと幸せにつながる

エンゲージメントとは

会員一人一人がクラブの掲げる「戦略・目標」を適切に判断し、自発的に自分の力を発揮する貢献意欲の事です。会員のクラブに対する愛情や思い入れを指す言葉であり、「個人」と「組織」が対等で、ともに成長できるという関係性を指します。